

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【公開番号】特開 2017-131682 (P2017-131682A)

【公開日】平成 29 年 8 月 3 日 (2017.8.3)

【年通号数】公開・登録公報 2017-029

【出願番号】特願 2017-50041 (P2017-50041)

【国際特許分類】

A 6 1 L 27/38 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 K 35/407 (2015.01)

A 6 1 K 47/42 (2017.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/20 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 L 27/38 1 0 0

A 6 1 P 1/16

A 6 1 K 35/407

A 6 1 L 27/38 2 0 0

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 47/36

A 6 1 L 27/38 3 0 0

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/20

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 19 日 (2019.6.19)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 8 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 8 1 】

結果

24 時間後では、HA を用いずに移植片を注入した「対照」細胞は、肝臓と肺の両方で見つかった。しかし、72 時間後では、前記「対照」細胞はほとんど存在しておらず、肝臓内には、識別可能な「対照」細胞がほんの少量残存していた。これとは対照的に、本発明に従って移植された細胞では、肝臓に上手く融合した細胞群が 24 時間後及び 72 時間後にいずれも認められ、2 週間後もまだ残存していた。また、この幹細胞ニッチ移植によって移植された細胞は、ランダム化組織試料アッセイでの分析によれば、ほとんど肝臓組織にだけ位置していることが分かり、しかも他の組織では見つからなかった（図 7）。